

## 会 議 録

会議の名称	平成 26 年度 第 2 回文化財審議会
開催日時	平成 26 年 11 月 20 日(木) 15 時 00 分～16 時 30 分
開催場所	教育委員会 会議室
出席者	吉川節男委員、川端正則委員、大久保善郎委員、塩入たま江委員、 松本伸行委員、佐々木真理子委員、杜多堯慶委員 事務局（友光生涯学習課長、加藤生涯学習副課長、堀主査）
欠席者	なし
会議次第	1. 協議 (1)文化財審議会検討事項 「市指定文化財候補の選定・検討について」 (2)報告事項 ・文化財保存団体補助金の交付について ・水子貝塚公園 20 周年記念事業について ・入間東部地域史研究発表会について 2. その他
会議資料	・指定文化財候補一覧
公開・非公開	公開（傍聴人 0 人）
会議録確認	吉川委員

## 会議内容

あいさつ（議長）

### 1. 協議

#### （1）文化財審議検討事項 「市指定文化財候補の選定・検討について」

事務局：前回、これまでの市指定文化財候補の一覧を資料として提示した。

昨年度、審議会で検討した「文化財保護マスタープラン策定に向けた基本的な方針について」の中で、富士見市の特色をあらわすものとして、『水が育んだ文化 ～武蔵野台地と低地に暮らす～』をメインテーマに掲げ、富士見市が水との関わりが強いことが再認識できたが、現在の指定文化財を見ると新河岸川関係文化財が少ないのではないかとの意見が出た。

今回の資料は、候補一覧の詳細に、前回の意見をまとめ水に関連した資料を若干加えている。

これら候補やそれ以外にも候補に入れるべき資料があれば、ご意見を伺いたい。

委員：文化として富士見市が新河岸川等の河川、水との関わりが強いことは認識しているが、指定候補に挙げられる有形資料となると、数が非常に少ない。

委員：候補にあげられるものとしては、新河岸川の舟運に関連する文書資料がある。

委員：上南畑神社のご神体も、大洪水の折に流れついた石剣（あるいは石棒）で水に関連したものといえる。

委員：候補としてあげられるかどうか定かでないが、水害の写真などの写真資料もできるのであれば考慮してほしい。記録としては貴重なものなので、残していくべきだと思う。

委員：指定しないまでも、地名や景観は記憶・記録として残すべきである。

委員：市内の河川沿いの石仏（水神）には、講をおこなっているところもある。こうしたものも貴重な資料だと思う。

委員：開発により、いつのまにかなくなっている石造物などの資料もある。

事務局：ここ近年の開発は著しいものがある。貴重な資料を保護していくためにも、指定等により後世に残していけるものは残していきたい。

他に水に関連するもの以外にも優良な資料があれば検討していきたいので、次回、候補資料のご意見を伺っていきたい。

#### （2）報告事項

##### ・文化財保存団体補助金の交付について

事務局：富士見市文化財保存団体連絡協議会より、文化財保存事業費補助金交付の申請が提出された。このことについて、審議会のご意見を伺いたい。

委員：貴重な指定無形民俗文化財であるので、今後も補助していただいたい。

委員：どこも後継者の育成については苦慮していると聞いているが、学校にも情報を流して、地域学習等に関連付けて、育成に協力してもらってほしい。

・水子貝塚公園開園 20 周年記念事業について

事務局：11 月 2 日（日）に実施。約 2,000 名来場。気球への乗船約 600 名。天候にも恵まれ、他の体験コーナーも盛況であった。

・入間東部地域史研究発表会について

事務局：11 月 22 日（土）に、二市一町（富士見・ふじみ野・三芳）の学芸員が研究成果を解説。ぜひ、参加していただきたい。

次回会議

次回の日程については、2 月中旬を目途に日程を調整する。

